

井尻公民館だより

(2024年8月1日発行)

〈令和6年 8月号〉

(第245号)

〈連絡先・問い合わせ先〉

館長 古屋 宗克 ()

主事 水上 由人 ()

金魚また留守の心に浮いており



深見けんじ



俳人の深見氏は、金魚を飼っていました。暑い夏外出した時、心にふと金魚のことが浮かぶ。部屋の温度は?・・・早く帰って餌を与えようと思ったのかもしれませんが。

金魚だけではなく犬や猫を飼っている人も大勢います。連日危険な暑さの日本列島大切なペットも人間と同じように熱中症になると言われています。この句に共感する人もいるでしょう。これから、暑い日が続きます。エアコンなど冷房の効いた部屋で水分補給をしながら自ら一句ひねってみてはいかがでしょうか。

👉 絵手紙愛好会 篠原勝利

※ お詫びと訂正 7月公民館だよりの絵手紙作者は、正しくは古屋典子様です。
お詫びして訂正いたします。

8月の歳時記♪・・・ 立秋・山の日・お盆・終戦記念日・処暑・・・

納涼祭 8月10日（土）決定

地域の皆様の多くが待ち望んでいました上井尻区・三日市場下区の納涼祭が開催されます。納涼祭実行委員長 靄田圭吾上井尻区長からのメッセージを掲載します。

『今年の8月10日（土）は納涼祭。コロナ渦で中断した地域の祭りが5年ぶりに復活します。可愛らしい「みいづ保育園」園児の太鼓演奏を皮切りに、人気のあるバルーンアーティスト、ウエルカム星矢さんのクラウンショー、豪華賞品のじゃんけん大会など盛りだくさんです。体育館をメイン会場に、周囲をお楽しみの模擬店が取り囲みます。公民館を練習拠点としている守山芳憲さんの太鼓グループ「妙音法音」が、特別演奏を披露するのも見逃せません。当日は駐車場が井尻小学校校庭となりますので、ご注意ください。』

今年は突然の降雨も考慮するなかで井尻小学校の体育館を中心としてのお祭りがレイアウトされます。また、従来通りの祭りをいろいろな角度から考察して見直した形で行われます。新しいスタイルを取り入れた今年の納涼祭ぜひご参加ください。開催にあたり地域の皆様のご理解とご協力をお願い致します。



👉 第1回 納涼祭実行委員会 6月15日（土）井尻公民館にて

公民館の教室「手芸愛好会」が再開

開催日時 毎月 第4火曜日 午後1時～4時

7月23日（火）・8月27日（火）・9月24日（火）・10月22日（火）

興味のある方・初めての方 この機会にぜひ参加してみたいかたがでしょう。

井尻小学校 2 学年公民館訪問

7月5日（金）地域学習の一環として「まちたんけん」で井尻小学校2年生9名が井尻公民館を見学に訪れました。鈴木学校長先生の先導のもと担任の山下史江先生・杉本真知子先生に引率され元気に入ってきました。全員がメモとタブレット端末を持参して必要事項を熱心に記録し、写真撮影をしていました。事前に6つの質問をいただきました。

○いじこうみんかんへのしつもん

- ・なんで、こうしゅうしいじり公みんかんという名前なのか？
- ・公みんかんでは、どんなことができますか？
- ・公みんかんには、どういうへやがありますか？
- ・公みんかんは、なんでつくられたんですか？
- ・公みんかんは、だれがつくったんですか？
- ・公みんかんは、なんじからあいていますか？

早速、1階から部屋を探検しました。和室の畳部屋はとても関心が高く、何をする所？と不思議な様子でした。ご家庭の畳部屋がない児童も多く、い草の感触が良かったのでしょう。調理室は、食器類や電気製品があることでその役割を果たすことを学習したようです。図書室があることにも目を輝かせていました。部屋見学後2階ホールでの学習会では全員が挙手をして質問し何回も質問していた児童もいて学習意欲が高い子どもたちの印象があります。メモを取り記録として書き込んでいたので今後教室に帰り、まとめることで学習の成果物になることでしょう。

8月 予定表				和太鼓 和太鼓 和太鼓		
日・曜	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
1・木				16・金		
2・金				17・土		
3・土				18・日		
4・日				19・月	和室見学	和室見学
5・月		和室		20・火		
6・火				21・水		
7・水		書道		22・木		
8・木				23・金	川柳	
9・金				24・土		
10・土			納涼祭	25・日		
11・日				26・月	和室	太極拳
12・月		和室	太極拳	27・火	和室	ダンス
13・火		俳句	ダンス	28・水		
14・水		書道		29・木		
15・木				30・金		
				31・土		

8月の公民館予定



川柳 井尻公民館川柳愛好会

山からの榮養海に流れてる

(久保晃)

人は海愛の深さを思う時

(田辺 たみ子)

復興を心待ちする碧い海

(古屋 典子)

山のゴミ川を旅して海に着く

(雨宮 江身子)

さあ行くぞ拾った海図で冒険だ

(石垣 まさ子)

夏休み子供ら楽し海遊び

(中村 廣一)

古希過ぎて海外旅行夢現

(関口 正次)

海釣りを終えてとぼとぼ鮮魚店

(飯島 武志)

短歌

父母の齡遙かに超えて長らえし

(久保晃)

吾は今では後期高齢

いつの間に妻と過せし半世紀

されど別居は四年を数え

水無月に早生桃などが色づくも

(古屋 和子)

老木の枝幾つか折れし

猛暑日の気温上りて冷蔵庫

飲料水の補充に忙し

俳句 井尻公民館俳句愛好会

窓際に月下美人のツンとして

(飯島 武志)

闇満ちて月下美人の香ふくいくと

(飯島 和子)

じゃんけんの負けの三角切西瓜

(増田 英仁)

月下美人ホーム劇場幕開く

(小林 昂平)

夢の淵月下美人の燈り居り

(鶴田 光子)

妖香に夜はとりこへ女王花

(三柵 淳)

※お詫びして訂正(井尻公民館だより七月号)掲載短歌の作品に

誤りがありました。お詫びして訂正いたします。古屋和子様作

誤『毎日の「いきいきサロン」お仲間と・・・』

正『毎月の「いきいきサロン」お仲間と・・・』です